シーティング：身体計測・設定記録シート（A4）

目的：車いす／座位保持装置の設定に必要な身体寸法・座位所見を、同じ手順で記録し再現性を高める（2 ページ）。

1. 基本情報

日付	年　月　日	担当	
氏名/ID		病棟/所属	
診断/主訴		計測姿勢	□ ベッド端座位　□ 車いす座位
使用機器	□ 車いす（型式：　　）	靴/装具	□ あり　□ なし（計測条件を統一）

2. 計測条件（再現性チェック）

骨盤位置	□ 中間位　□ 後傾　□ 前傾　□ 回旋（右/左）　□ 斜位（右上/左上）
体幹	□ 正中　□ 側屈（右/左）　□ 回旋（右/左）　□ 伸展　□ 屈曲
下肢	股：□ 中間　□ 外旋　□ 内旋　／膝：□ 伸展　□ 軽度屈曲　／足：□ 底屈　□ 背屈
支持	□ 足底接地　□ フットレスト　□ 上肢支持（肘掛け/テーブル）　□ 介助あり
痛み/しびれ	□ なし　□ あり（部位：　　）　NRS：　/10

3. 身体寸法（一次：座幅・座奥行・下腿長）

① 臀部最大幅（座幅）	mm	左右差/注意	
② 大腿長（臀部後縁→膝窩）	mm	膝窩余裕	□ 2 – 3 指　□ 10 – 20 mm　□ その他（　　）
③ 下腿長（膝窩→踵）	mm	靴/装具	□ あり　□ なし
④ 足長（踵→つま先）	mm	FR 余裕	□ あり　□ なし

4. 身体寸法（上肢・体幹：肘掛け高さ・背もたれ）

⑤ 座面→肘頭高（肘掛け高さ）	mm	肩の状態	□ 挙上　□ 下制　□ 痛みあり
⑥ 座面→肩峰高	mm	背支持	□ 下角まで　□ 肩甲帯まで　□ 頸部まで
⑦ 肩幅（両肩峰間）	mm	肘掛け間隔	干渉：□ なし　□ あり（　　）
⑧ 体幹幅（胸郭/体幹）	mm	側方支持	□ 必要　□ 不要　□ 検討中

5. 座位所見（圧・皮膚・赤旗）

骨盤/坐骨荷重	□ 左右対称　□ 左優位　□ 右優位　□ 前方　□ 後方（後傾）
大腿支持	□ あり　□ 不足（浮き）　□ 前縁圧　□ 左右差
皮膚/発赤	□ なし　□ あり（部位：　　）　□ 既存創/褥瘡あり
赤旗（中止/再評価）	□ 強い痛み　□ しびれ増悪　□ 発赤持続　□ 呼吸苦　□ 低血圧症状
メモ	

シーティング：設定・試適チェック（A4 2/2）

“ 現状 → 調整後 → 理由 ” を残すと、再現性と引き継ぎが上がります。

6. 設定（mm / ° ）

項目	現状	調整後	理由/注意（安全・圧・目標姿勢）
座幅（シート幅）			
座奥行（シート奥行）			
座面高（床→座面）			
背もたれ高			
背角（リクライニング）			
座角（ティルト/前後傾）			
クッション（種類/厚み）			
側方支持（体幹パッド）			
骨盤ベルト（位置/角度）			
フットレスト長			
アームサポート高			
ヘッドレスト（必要時）			

7. 試適・安全チェック（原因メモ）

皮膚（坐骨/仙骨/大転子/踵）	☐ 問題なし　☐ 発赤　☐ 疼痛　☐ 圧迫感
ずれ	☐ 前滑り　☐ 側方ずれ　☐ 骨盤回旋　☐ 斜位
上肢	☐ 支持OK　☐ 肩の引き込み　☐ 痛み　☐ テーブル高さ不適
足部	☐ 足底接地　☐ つま先荷重　☐ 尖足/内反　☐ FR 位置不良
移乗/駆動	☐ 移乗しやすい　☐ 干渉あり　☐ 駆動しやすい　☐ 疲労少
嚥下/呼吸	☐ 安定　☐ 苦しさ　☐ 頸部角度調整要　☐ 体幹支持要
環境/介助	☐ セッティング容易　☐ 介助者へ手順共有済　☐ 要共有
補足メモ	

8. 次回までの課題 / 追加メモ